

『もりおかの短歌』春の部

〈一般部門〉優秀賞十首

なかつがわきよ　なが  
中津川淨き流れに草萌える

かぜさわ  
風爽やかに

すが　こころ  
清しき心

盛岡市　餘目　忠吉

くも　わ　はちまんたい  
雲が湧き八幡平に

りゆう　く  
龍が来る

ドラゴンアイのブルー謎めく

盛岡市　赤坂　昌信

たくぼく　ひとめ　あ  
啄木に一目会ひたく渋民へ

みそひともし  
三十一文字に

おも  
思ひをのせて

奥州市　小野寺　洋一

図書室としよしつの

窓まどに親したしき岩手山いわてさん

一礼いちれいをして旅立たびだつ朝あした

秋田県大仙市 鈴木 仁

開業かいぎようより半世紀はんせいぎ余よの業績ぎようせきを

惜おしみて閉とづる

岩山いわやまパーク

青森県青森市 鈴木 操

わが心こころ預あづけし君きみの来くるを待まつ

菜種なたね梅雨づゆ降ふる

開運橋かいうんばしにて

青森県青森市 鈴木 操

もりおかの城跡しろあと

やっはると春はるめいて

山茱萸さんしゆゆの黄きの石垣いしがきに映はゆ

盛岡市 鈴木 充

ゆきがた わし  
雪形の鷺がくつきり浮き上がり

きょう はたけ  
今日は畑に

せつかい ま  
石灰を撒く

盛岡市 中島 久光

たかまつ いけ きしべ はないかだ  
高松の池の岸辺の花筏

えさ もと  
餌を求める

とり けち  
鳥が蹴散らす

盛岡市 中島 久光

いしわ さくらさ ころゆめ  
石割りの桜咲く頃夢うつつ

おに てがた  
鬼の手形の

いわ  
岩もやわらか

盛岡市 堀米 公子

春の部へジュニア部門へ

優秀賞

該当なし

## 【講評】

### 一般部門

「もりおかの短歌」が始まったのは平成二十年の夏の部からで、今年で十五年目になる。これだけ長い間に多くの歌が詠まれてきたが、同じものはひとつもない。岩手山や啄木など素材は同じであっても、それぞれに込められた思いに違いがあるからである。これからも、素材は同じであったとしても、それをどう自分に引き付けて詠むかに心掛けて作って欲しい。又、推敲することを大切にしてもらいたい。

令和四年六月選 春の部

投稿数 八十八首

選者 山本 豊